

令和三年度 大阪国税局長賞

税金の必要性

桜井市立大三輪中学校 一年 豊村 心音

私たちは、税金に支えられて生活しています。そして、どこに税金が使われているか調べてみました。まずは、学校に税金がどれだけ使われているのか調べてみました。すると、校舎、体育館、プール、教室の机や椅子、黒板、授業で使うパソコンや楽器、理科の実験道具など税金がたくさん使われていることが分かりました。私たち公立中学は、働いている人が納める税金で成り立っているということが分かりました。たくさんの人に支えられて、勉強や運動をできる環境があることはとても幸せなことなんだと感じました。他に調べてみると、私が住んでいる奈良県はひろばや、道路にも税金が使われていることが分かりました。あと、奈良県には森林環境税や産業廃棄物税などがあるそうです。環境のことに税金が使われていることを初めて知ったので、税金はあらゆるところにかかっているんだなと思いました。森林環境税は、全国的には令和六年から始まるらしいので、平成十八年から適応している奈良県は早いと思うし、さすが山の割合が多い奈良県だなと思いました。

次に、医療について書こうと思います。かぜを引いたり、けがをしたりして病院で手当てをしてもらうと、お金がかかります。かかった金額の一部には、税金が使われています。年をとって体が思うように動かなくなったときなど、介護サービスを利用したときにかかる金額の一部にも税金が使われています。昭和三十年ごろは、生活に困っている人や失業した人を助けるために、多くの税金が使われていました。でも現在は、お年寄りの人が増えてきたため、税金は医療、年金や介護などに多く使われるようになっていそうです。その時代のスタイルに合わせて、少しずつ使い道が変化しているのだと知りました。

税金は、この作文に書いたこと以外にもいろんなところで生活を支えてくれているのでとてもありがたいなと思いました。そして、働いて税金を納めてくれている人たちには本当に感謝だなと思いました。税金のおかげで平等に安定した生活を送れるのだと学びました。税金に対して、否定的な意見を言う人もいるけれど、私たちの生活は税金で支えられているところがたくさんあるので、そういう人に税金の必要性を伝えられる人になりたいです。そして、私も大人になって働きだしたら税金をしっかり納めていきたいなと思います。